

業界初、AIがプレスリリースを自動で作成する新サービスの提供開始
第一弾は「新商品・新サービス発表版」を提供、無料で3本作成可能なチケット配布
情報を入力すると ChatGPT が作文を代行、業務時間半減へ
~月 1 万円でリリース作成し放題の新メニューをオンライン広報サービス「PRONE（プロネ）」に搭載~

PR テックを活用し企業の広報・PR 活動を支援する株式会社シブード（本社：東京都中央区、代表取締役：船木芳雄・船木真由美、以下「当社」）は、当社が開発し提供している、PC やスマホで広報・PR 活動ができるオンライン広報・PR サービス「PRONE（プロネ）」：<https://prone.jp/> に、プレスリリースを AI が自動で作成する新サービスを業界で初めて提供開始します。今回は第一弾として「新商品・新サービス発表用」のプレスリリース作成を支援し、今後数十パターンのプレスリリース自動生成実現を目指します。また、1社あたり3本まで完全無料でプレスリリースを自動生成可能なチケットをプロネ上で配布します。

本サービスは、入力フォームに必要事項を記入するだけで、誰でも簡単にプレスリリースを作成できるサービスです。最大の特徴は、ベテラン広報担当のプレスリリース作成能力を ChatGPT に学ばせたことで、専門スキルがなくともベテラン広報と同様のリリース原稿の作成ができる点です。また、従来の半分の時間で原稿作成ができるため、利用ユーザーのプレスリリース作成負荷を軽減し、記者をはじめとした読み手に発信内容の魅力をわかりやすく伝えることが可能になります。

（本プレスリリースも、AI 自動作成サービスでつくられた原稿をもとに作成しています。）

＼入力フォームに必要事項を記入するだけ／

プレスリリース AI 自動生成

AI が発信内容の魅力をわかりやすく伝える
プレスリリースを自動作成

無料オンライン広報サービス

PRONE
プロネ



◆背景

プレスリリースの作成は、情報を客観的かつ順序立てて説明するストーリー性や新規性、社会性といった情報自体の面白さを説明するノウハウが必要となります。インターネット上には多くのプレスリリース作成雛形や作成方法をアドバイスするコンテンツが溢れていますが、作成経験のない人がこれら雛形やコンテンツを活用

しても、読み手に伝えたい内容の魅力を知りやすく作成することは非常に困難です。そこで、必要な項目に情報を入力するだけで、経験のない人でも読み手にわかりやすく発信内容の魅力伝えることができるプレスリリース AI 自動作成サービスの開発に至りました。

◆プレスリリース AI 自動作成サービスについて

本サービスは、OpenAI 社が提供する ChatGPT API を利用したサービスです※1。プレスリリース作成経験のない人でも、プロネにあるプレスリリース自動作成入力フォームに必要な事項を入力し作成ボタンを押すだけで、簡単にプレスリリースが作成することが可能です。これにより、広報担当者の業務負担を軽減し、記者が理解しやすいプレスリリースを作成することが可能になります。また、地方企業や中小企業も本格的なパブリックリレーションが可能になり、地方創生や起業家創生につながることを目指しています。目標として、来年末までに 1,000 社の広報担当者のお試し利用、その後の 500 社の有償利用を目指します。

※1：プレスリリース自動生成は、OpenAI 社が提供する ChatGPT API を利用したサービスです。ChatGPT API はプレスリリース自動生成フォームに入力された情報について学習に利用しませんが、万が一お客さまがプレスリリース自動生成フォームに機密情報を入力したことにより情報が漏えいした場合、当社は一切の責任を負いません。プレスリリース自動生成は、お客さまの自己の判断と責任の下、利用いただくものとします。OpenAI 社の利用規約：<https://openai.com/enterprise-privacy>



▲プレスリリース AI 自動作成入力フォームと自動生成完了

◆業界初、プレスリリース AI 自動作成サービス概要

- ・内容：AI を活用しプレスリリースを自動で作成する業界初の新サービスで、オンライン広報サービス PRONE（プロネ）に搭載。
- ・サービス開始日：2023 年 12 月 12 日
- ・サービス利用料：1 企業あたり 3 本のプレスリリース自動生成が無料。3 本の無料利用終了後は、1 ユーザーあたり 1 本 1 万円（税別）で利用可能。プレミアムプラン利用は、追加で月額 1 万円（税別）払えば毎月何本でも利用可能。
- ・サービス URL：<https://prone.jp/>

・サービス利用方法

PRONE（プロネ）へのユーザー無料登録が必要です。

→登録はこちら（<https://prone.jp/registration/company/new>）

会員登録後、メールアドレスとパスワードでログインし、ログイン後のトップページにある「プレスリリース AI 自動生成チケット購入リンク」をクリックしてください。クリック後、初めてサービスを利用される方は 3 本の無料利用が可能なチケットを入手できる画面が表示されるのでチケットを入手してください。入手後、プレスリリース自動生成リンクをクリックすると、作成を開始できます。

・利用シーン：

- 広報発信のためのプレスリリース作成時
- 新規事業立案や、新規キャンペーン施策など社内稟議を通す際の資料作成時
などリリース作成に限らず、情報整理のために幅広く活用が可能

◆代表取締役 船木芳雄・船木真由美 共同コメント

プレスリリースの雛形は世の中に溢れていますが、読み手を意識した文書、特に発信したい情報で最も伝えなければならない情報を何に設定し、発信した情報を読み手にわかりやすく伝えるストーリーを構成するのは困難でした。今回開発したサービスは、プレスリリースを作ったことがない人でも必要事項を入力だけでストーリー立ててわかりやすく説明する、読み手に優しいプレスリリースを簡単に作成できるサービスです。多くの方に作成いただき、有益な情報が溢れる社会の実現の一助となりたいです。

◆オンライン広報・PR サービス：PRONE（プロネ）概要

・ URL：<https://prone.jp/>

200社以上の企業の広報・PRを支援してきた知見の豊富な広報専門家集団「シプード」が、企業の積極的な情報発信を支援する目的で開発し、誰でも簡単に広報・PR活動をはじめられる「オンライン完結型」の広報支援サービスです。PCやスマホからいつでもどこでも利用できるウェブサービスであり、現在、大手からベンチャーまで全国の企業約1,000社が利用中です。

プロネは、オンライン上でキーマン記者100名にリリース配信ができ、また全国の記者クラブやリリース好例が探せる無料のフリープランと、最大300媒体へリリース配信し放題や毎週の募集ネタへの応募から、メディアリストのクラウド管理（広報CRM）、広報セミナー受講、広報専門家への相談（オプション）まで、オンライン広報に必要なフル機能が使える月額1万円（税別）※2のプレミアムプランがあります。

通常、PR代行会社に依頼した場合に、PR代行や広報相談などで月額50万円から100万円以上かかるコスト負担を大幅に軽減することができます。

The banner features the PRONE logo at the top left. Navigation links include HOME, 使い方, 登録企業のニュース, よくあるご質問, and メディア関係者はこちら. There are buttons for ログイン and 無料登録. The main headline reads 'オンライン広報 はじめるなら' (Start online PR). A red button says 'オンライン広報を無料で始める' (Start online PR for free). Below this, two laurel wreaths indicate '累計登録社数 約1,000社' (Total registered companies approx. 1,000) and 'メディア登録 100社以上' (Media registered 100+). A large '0円' (0 yen) badge is shown with a note '※一部有料機能がございます。' (Some paid features are available). The background shows a laptop and a smartphone displaying the PRONE interface, and a crowd of people with their hands raised.

※2：企業の利用につき、1人目1万円（税別）/月、2人目以降5千円（税別）/月の料金が発生します。

・利用方法：


申し込みページ（ <https://prone.jp/registration/company/new> ）より申請後、当社で審査のうえ ID を発行。

・ユーザー対象：以下の課題を持つ広報担当や企業など

- これまでプレスリリースを配信しているだけだった
- 記者のメールアドレスを知らないので情報提供できない
- 記者とつながり取材してもらう方法がわからない

◆企業向けの会員プラン詳細

フリー	プレミアム
まずは無料で試したい	プレスリリース配信し放題 クラウドメディアリストの利用が可能 プロネ所属の広報プロがPR代行
¥0	月額費用（1企業1名の利用） ¥10,000/1名 2人目以降 ¥5,000/1名
基本機能はすべて無料でお使いいただけます	

 プランの詳細

	フリー	プレミアム
記者約100名に直接投稿	✓	✓
全国の記者クラブ情報	✓	✓
他社の広報と友達になる	✓	✓
プレスリリース一斉配信	1回9,800円（税別）	配信し放題
プレスリリースAI自動作成 ※初回3本無料お試し可能	1本10,000円（税別）	+月額10,000円（税別）で作成し放題
プロモーターPR代行		✓
クラウドメディアリスト		✓
「広報の家庭教師」1時間アドバイス		1回50,000円（税別）

・支払い：請求書後払い、またはクレジット払い

・利用方法：

申し込みページ（ <https://prone.jp/registration/company/new> ）より申請後、当社で審査のうえ ID を発行。プレミアムプランの利用を希望の場合、会員ページにてフリープランからプレミアムプランへ変更すると、「記者リスト管理（クラウドメディアリスト機能）」「広報サロン機能」「広報専門家への相談」など有料プラン特典が利用可能になる。

◆PRONE（プロネ）の主な機能

プロネでできること

オンライン広報に必要な機能がプロネひとつで完結。
新人広報から、ベテラン広報まで満足いただけます。



記事ネタを探している記者に情報提供

誰もが知る大手メディアの記者が約100名登録。今まさに記事ネタを探しているキーマンの記者達に無料で情報提供できます。



プロネ所属の広報プロがPRを代行

プロネ所属の広報プロが毎週募集する「こんなネタありませんか？」にエントリーするだけで、記事掲載が狙えます。



全国の記者クラブ情報を簡単検索

官公庁などに設置された記者クラブにプレスリリースを投函することで記者に情報が届きますが、プロネは全国に約500箇所存在する記者クラブの連絡先や投函方法など詳細を閲覧できます。



「広報の家庭教師」が1時間アドバイス

これまで10年間で200社近くの企業広報を支援してきた「広報の家庭教師」が、1時間で広報に関するあらゆる相談に乗り、解決策を提示します。



プレスリリースを一斉配信

約650メディアの中から、主要メディアだけでなく都道府県別・業種別に細かく送り先を選定し一斉配信できます。1回9,800円(税別)で配信できる安心かつリーズナブルな価格設定です（プレミアム会員は配信し放題です）。



プレスリリースの作り方を学べる

実際にメディア掲載につながったお手本となるプレスリリースが閲覧可能です。プレスリリースを作成する際の参考情報として活用できます。



メディアリストを整えて記者と関係構築

一度つながった記者とのやり取りや反響をメディアリストで管理。記者の興味や関心、情報を求めるタイミングが見える化され、記者と良い関係を構築できます。



AIがプレスリリースを自動作成

入力フォームに必要な事項を記入するだけで、AIがプレスリリースを自動作成します。プレスリリースの書き方がわからない人でも、発信内容の魅力をわかりやすく伝えることができます。



広報担当者同士つながりネットワーク強化

プロネでプレスリリース等の情報を投稿する他社広報担当者同士と友達機能を通じてつながることが可能です。広報担当者同士のつながりを増やすことで、記者ネットワークも増やすことができます。

1. 記事ネタを探している記者に情報提供ができる

・無料のフリー会員は、大手メディア所属のキーマンとなる記者 100 名に、プレスリリースをはじめとした自社のニュースを無料で何度でも情報提供が可能（フリー会員が、より多くのメディアへ配信したい場合、1回9,800円[税別]で約650メディアの中から300媒体ほどに一斉配信ができる。）

・プレミアム会員は、約650メディアの中から、主要メディアだけでなく都道府県別・業種別に細かく送り先を選定し一斉配信ができるプレスリリース配信機能が使い放題

2. プロネ所属の広報プロ達があなたの代わりに記事化を提案

・広報プロが毎週募集する「こんなネタありませんか？」にエントリーするだけで、企業の広報担当に代わって広報のプロがメディアへ提案してくれる、リリース配信にとどまらない形でPR強化ができ記事掲載が狙える



3. 全国の記者クラブ情報を簡単検索

・官公庁などに設置された記者クラブにプレスリリースを投函することで記者に情報が届くが、PRONE（プロネ）は全国に約500カ所存在する記者クラブを「官公庁」「都道府県」「業界団体」の3つのカテゴリー別に一覧表示、連絡先や投函方法など詳細が閲覧できる

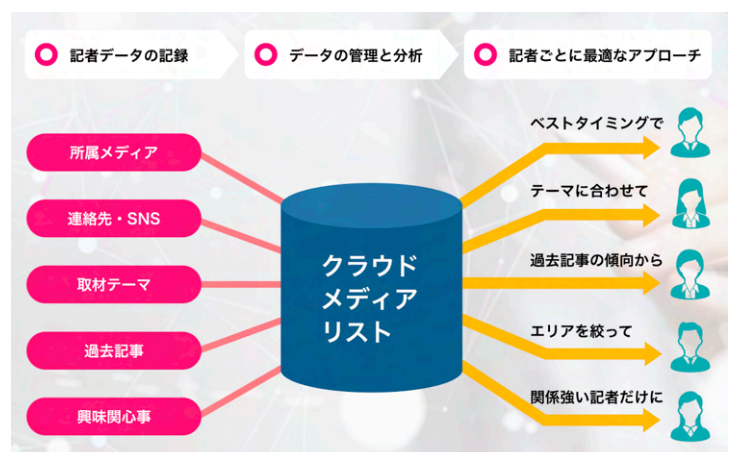
記者クラブ一覧 ?

官公庁別	地方自治体別	業界団体別
地域	都道府県	
北海道	北海道	
東北	青森県	岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県
南関東	埼玉県	千葉県 東京都 神奈川県
北関東・甲信越	茨城県	栃木県 群馬県 山梨県 長野県
北陸	新潟県	富山県 石川県 福井県
東海	岐阜県	静岡県 愛知県 三重県
近畿	滋賀県	京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県
中国	鳥取県	島根県 岡山県 広島県 山口県
四国	徳島県	香川県 愛媛県 高知県
九州	福岡県	佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

4. クラウドメディアリストの利用が可能

・一度つながった記者の連絡先や、やり取り・反響などをメディアリストで管理。記者の興味や関心、情報を求めるタイミングが見える化できるため記者と良い関係を構築できる

・また媒体研究の結果や、記事を読んでぜひ今後提案したいと思う記者情報もリストに追加することで一元管理が可能



▲記者リスト入力画面（一部）

鈴木花子 - 基本情報	
ユーザID	2034
媒体名(媒体ジャンル)	サンプルメディア1(EC)
担当カテゴリ	IT
勤務先	企業A
キーマン	O
役職	編集委員
メールアドレス1	prone@dev.craftake.com
経歴・異動	金融領域の記者を長年担当され、20xx年より編集委員へ。主に、フィンテックを担当されている。
メール配信・電話可否	メール・電話OK
メモ	xxxxに関するプレスリリースを事前に相談後、関心あるということで取材調整中。

▲記者情報ページ（一部）

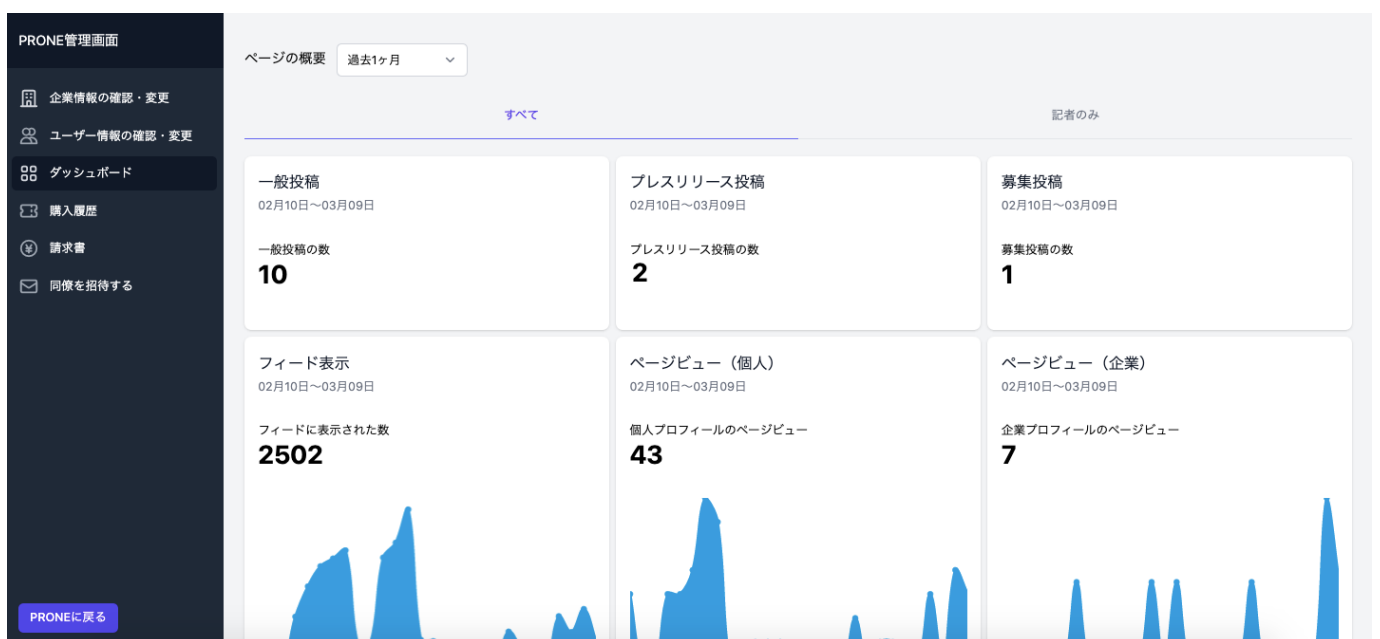
5. プレスリリースの作り方を学べる

・実際にメディア掲載につながったお手本となるプレスリリース好例を「新サービス提供」「業務提携」「調査リリース」など15種に分けて紹介、プレスリリースを作成する際の参考情報として活用できる



6. ダッシュボードで効果測定

・PRONE（プロネ）上に投稿した情報がどのくらい読まれたのかなど、投稿に対してのアクションを定量的に把握し、広報活動の改善に活かすことが可能



7. 他社の広報担当とつながり、横のネットワークを強化

・PRONE（プロネ）でプレスリリース等の情報を投稿する他社広報担当者とメッセージ機能を通じてつながることが可能、広報担当者同士のつながりを増やすことで、一緒に企画書を作成したり、記者を紹介しあったりなど広報活動の幅が広がる

8. 広報コミュニティ「PRONE 広報サロン」へ参加可能

・プレミアムプランの企業は、業界初の"Discord"を活用した広報・PR 担当どうしの交流サロンに参加可能。最新のメディア情報や広報ノウハウに関する毎月の解説セミナーに参加しスキルアップができる

*関連プレスリリース：[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000020.000046649.html](https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000000020.000046649.html)



9. 「広報の家庭教師」が1時間アドバイス（オプション1回5万円）

・PRONE（プロネ）内で広報相談チケットの購入が可能
・これまで10年間で200社近くの企業広報を支援してきた「広報の家庭教師」が、PR戦略策定や新情報の打ち出し方、ネタづくりなどの企画立案、プレスリリース原稿の確認など、1時間で広報に関するあらゆる相談に乗り、解決策を提示



【PRONE(プロネ)に関するお問い合わせ先】

PRONE カスタマーサポート E-mail: support@prone.jp

【参考】プロネ開発背景：広報活動の転換期

コロナの影響により対面業務が制限され、多くの企業がリモートワークを導入したことにより、記者側の情報収集手段や取材スタイルも対面からオンラインが主流に変化しました。コロナ前は、記者クラブへ訪問して名刺交換をする、編集部へ電話をして記者へコンタクトするなどのほか、取材や記者向けイベントも対面が一般的でした。コロナ禍で状況は一変し、オンラインやSNS上で記者と広報がつながる時代となり、今後の企業広報には、記者とオンラインを通じて良好な関係を築くための仕組みや、広報業務もリモートワーク前提で場所や時間にとらわれず、オンライン上で実行できる環境が求められています。

そこで、10年にわたり広報・PRの家庭教師として200社以上の企業を支援してきた当社の知見をもとに、オンライン上でプレスリリースの雛形探しから原稿作成、全国の記者クラブ先やメディア送付先の選定と配信、記者リスト管理、専門家への相談まで、広報活動の全てが1つで完結する「オンライン広報サブスク」サービスの提供を2023年3月より開始しています。

◆株式会社シブード 会社概要

会社名：株式会社シブード

代表者：代表取締役 船木芳雄・船木真由美

設立：2011年2月21日

所在地：東京都中央区銀座1丁目12番4号 N&E BLD.6F

資本金：1,000万円

HP：<https://shipood.com/>

事業内容：企業向け広報・PR 支援「広報・PR の家庭教師」事業

オンライン広報サービス「PRONE（プロネ）」事業の開発・運営

広報・PR の家庭教師「フランチャイズ」事業

◆「広報・PR の家庭教師」サービス概要

URL：<https://shipood.com/public-relations-tutor-service/>

クライアント企業内の広報未経験人材を育成し、企業内に自走する広報組織の立ち上げや、企業の IPO サポートを手がけている。これまで属人的に仕事が進むことが多かった広報・PR 業界において初めて、業務を体系立てて整理し、見える化した点が特長。



業務をタスクまで分解し、クラウド上で進行管理しながら OJT でクライアント企業の広報・PR 業務をサポートしている。サービス開始から 9 年でスタートアップ企業中心に 170 社以上の広報・PR 担当者を育成。費用は月額 30 万円から。

家庭教師サービスの流れ

実務経験豊富な広報専門コンサルティングチームが、ニュースになるネタの探し方から記者との関係づくりまで幅広く指導しながら、御社の広報・PR活動を成功に導くためのアドバイスを行います。



企画・提案 (ネタ出し)

施策実行結果を元に現施策の軌道修正や新たな施策の検討を行い、次のアクションを決定。



進捗管理 (スケジュール)

施策の制作（原稿制作等）や社内及びアライアンス先との調整など、行動計画の進捗を確認。



アウトプット (レビュー)

リリース原稿やプロモート用資料などが成果につながる内容かどうかアウトプットの質を確認。



コンタクト (アクション)

ターゲットメディアを選定し媒体の特徴に合わせたコンタクト手法で記者へ直接提案。

【PRONE(プロネ)に関するお問い合わせ先】

PRONE カスタマーサポート E-mail: support@prone.jp

【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社シップード 広報 E-mail: pr@shipood.com